

世界最高水準の発電効率

64%以上
(LHV)

幅広い出力レンジ

4 - 128万
kW 級

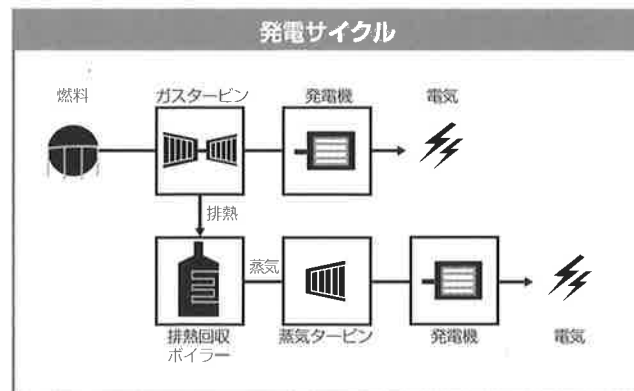
複合サイクル発電プラント

On Grid
実証設備

CO₂排出量

約 50%減
対 従来型石炭焚き火力発電

なぜ、GTCCが最適な選択なのか？



GTCC発電プラントは、化石燃料を使用したもっともクリーンかつ高効率な発電設備です。

MHPSの最新鋭J形ガスタービンを使用したプラントの発電効率は、従来型石炭焚き火力発電方式より20%向上し、世界最高水準の64%以上を達成します。また、CO₂排出量もおおよそ50%削減することができます。

MHPSは、1971年に日本初となるコンバインドサイクル発電設備を国内の電力会社へ納入しました。以来、数々の納入実績を積み重ね、お客様からの厚い信頼を得ることができました。お客様にご満足いただくため、発電設備や機器を単に供給するだけでなく、保守・点検も含めた広範なサービスを提供しています。

火力発電設備の主流となっているGTCCの背景と特徴

1. 熱効率が低い

火力発電では、熱効率約40%であるのに対し、コンバインドサイクル発電では、約60%以上(共に低位発熱量基準)の熱効率となる。

2. 環境に優しい

- 大気中に排出される二酸化炭素(CO₂)が少ない。
- 大気中に排出される窒素酸化物(NO_x)、硫黄酸化物(SO_x)が少ない。
- 海中に排出される温排水が少ない。